



## 平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)

### 大里地区

## 「居住ゾーン」における住宅等民間開発の住民説明について要望書を提出

2021年2月16日、平和とくらしを守る門司区民の会より「大里地区『居住ゾーン』における住宅等民間開発の住民説明についての要望書」を北橋北九州市長に提出しました。

2021年2月5日、企画調整局都市マネジメント政策課より、モデルプロジェクト再配置計画（大里地域）「居住ゾーン」における住宅等民間開発の住民説明（資料配布）について、関係議員への情報提供がおこなわれました。その内容は開発計画の詳細が決まり、開発業者が主体となって、周辺住民に対して、説明会に代わり資料配布するとしたものです。

この事業は北九州市による数回に及ぶ大里地区6校区を対象に市民説明会等が行われ、関係住民から数多くの意見が出されてきた経緯があり、北九州市及び開発事業者は関係住民への丁寧な説明が行わなければなりません。

内容は下記の通りです。

北九州市長  
北橋 健治様

2021年2月16日  
平和とくらしを守る門司区民の会  
代表 森下 宏人  
090-9495-3902

**要望書**

大里地区「居住ゾーン」における住宅等民間開発の住民説明について

2021年2月5日、企画調整局都市マネジメント政策課より、モデルプロジェクト再配置計画（大里地域）「居住ゾーン」における住宅等民間開発の住民説明（資料配布）について、関係議員への情報提供がおこなわれています。その内容は、開発計画の詳細が決まったので、開発業者が主体となって、周辺住民に対して、説明会に代わり資料配布するとしたものです。

この事業は北九州市による数回に及ぶ大里地区6校区を対象に市民説明会等が行われ、関係住民から数多くの意見が出されてきた経緯があり、北九州市及び開発事業者は関係住民への丁寧な説明が行わなければなりません。

下記の内容について、北九州市は開発事業者への指導を行うよう強く要請するものです。

**記**

- これまで、市の行った市民説明会は、大里地区6校区を対象に行われてきました。関係自治会への説明はもとより、住民への説明会を6校区対象に行うこと。
- 資料による説明を行っていますが、その提示内容は、開発工事における工事車両による交通安全対策、道路汚染対策、及び騒音対策についての対策等が明らかでなく、開発事業者に対して説明するよう指導されたい。
- 市政だよりに併せて資料送付による説明が行われていますが、自治会未加入者への説明はどのようにされるかお答えください。
- 令和2年2月17日の第2回事業者検討会で、検討会委員より指摘された問題がどのように処理されたのか、計画の変更を示すよう指導されたい。

以上

### 「コロナ緊急ホットライン（第6弾）」を実施！

#### 県外含め26件の相談。長引くコロナ禍、生活に大打撃

#### ■ 長引くコロナ禍に悲痛の声が多数

2020年4月から数えて6回目となる「コロナ対応電話相談会」を2月20日（土）に実施しました。今回もマスコミ2社から取材があり、昼のTVニュースの反響もあってか26件と県外からも多くの相談が寄せられました。ある自営業の方は「持続化給付金をうけたが、売り上げが一向に回復せず生活が苦しい」、契約社員の方から「会社の業績が悪化したまま。4月以降の契約延長はなしと言われた」、シングルマザーからは「サービス業の仕事だがコロナの影響で収入減。食料支援などを友人から受けているが2人の子供を抱え、もう限界」といった切実な相談に加え「今はなんとか生活しているが、コロナ禍が続くと不安。」といった声も聞かれました。この間、各種の支援策をうけ何とか生活している方々が長引くコロナ禍でいよいよ限界に来ていることを実感させられました。



#### ■ 新たな相談も・・・

政府がコロナワクチン接種の具体的な方針を打ち出した関係で「以前、腰

痛で注射をした時、副作用が出た。ワクチンは打ちたいが心配」「特殊な持病があるが、ワクチン接種は大丈夫か？」といったワクチン副作用に関する相談もありました。生保受給者から「国会で野党が訴えている2回目の給付金は出るのか？自分達は前回同様、支給対象なのか？」といった期待と不安の問い合わせもありました。さらには、社協の貸付金について窓口対応の冷たさや不誠実さに怒りの声が寄せられました。



#### ■ 無策の政府コロナ対応・・・

今回も相談者に「政府の対応」について可能な限り、訊ねました。「飲食や観光業などへの支援が優先されているが、他にも困っている業種はある。平等な対応を」「検査体制、医療体制の充実が必要」「自助（自己責任）に頼らない社会の構築を」など政府の対応に疑問を呈する意見が多数を占めました。2回目の緊急事態宣言も解除さえつつありますが、今回の相談会を通じて私たちがこの間、訴えている「感染防止と医療体制の充実。そして、十分な支援を的確に迅速に継続して行うこと」の重要性をあらためて認識させられました。さらに声をあげていく運動とともに困窮する方々を1人でも多く救うべく、今後も相談会を継続して実施していきたいと思えます。

### 今後の相談会予定「生活保護110番」(無料)

日時：3月16日(火)10時～17時

☎：562-3966 もしくは 562-3967 へ

### 北九州憲法共同センター第7回総会

2021年2月20日14時から小倉北区ムーブ大セミナー室で北九州憲法共同センター第7回総会が開かれ67人の仲間が参加しました。市民と野党の共同で統一候補を作り総選挙を勝利しようをスローガンに北九州憲法共同センター第7回総会が開かれ67人の仲間が参加しました。



総会終了後の記念講演は、戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会共同代表の高田健氏が、「今度こそ、市民と野党の共闘で野党連合政権を！」と題して約1時間じっくりとわかりやすく話してくれました。

司会進行は若松新婦人の大内さん、挨拶と議案の提案は運営委員の前田憲徳弁護士、市職労の永野会計監査が会計監査報告の後、すべての議案が満場一致で採択・確認されました。その後、高田健氏の講演、閉会のあいさつは、健和会労組安達委員長が行いました。

(堀田和夫氏FBより)

### 春闘要求前進をめざす地域総行動

2021年北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、2021年春闘要求前進をめざす地域総行動を2月25日（金）戸畑駅での早朝宣伝、小倉駅前広場での退庁時宣伝行動を取り組むと共に、労働基準監督署、北九州市雇用政策課、北九州商工会議所等に全労連統一要請書及び独自要請書の提出と懇談など終日行動を展開しました。

コロナ禍による緊急事態宣言が出されている中での行動となり、要請先からはコロナ対策として参加人員の制約もありましたが、エフコープ生協労組、福建労、健和会労組、北九州市職労、ポポロ労組、北九州地域ユニオン、全教北九州、年金者組合等から延べ34人の組合員が参加しました。

寒の戻りで雨も降る中での宣伝行動となりましたが、参加者は元気いっぱい頑張りました。「ありがとうございます。」「頑張ってください。」と声をかけて受け取ってくれる方もいて、元気をもらう宣伝行動となりました。

(堀田和夫氏FBより)

さよなら原発! 3・11北九州集会  
音楽と講演の夕べ



東日本大震災と東京電力福島第一原発の事故から10年を迎えました。死者・行方不明者、関連死を含めた犠牲者は2万2200人にのぼります。避難生活を余儀なくされる人はピーク時の47万人から減ったものの、なお8万人を超えます。あらためて犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災者のみなさんにお見舞い申し上げます。

さよなら原発! 3・11北九州集会 実行委員会主催で、3月11日18時20分から「福島原発事故10年 音楽と講演の夕べ さよなら原発! 3・11北九州集会」が小倉北区ソレイユホールで開かれました。

参加者は500人前後でしたが、コロナ禍の中、マスク着用、検温、消毒など万全のコロナ対策をおこなうなど参加者の健康を気遣う集会として大きな成功を収めました。

(堀田和夫氏FBより)



東日本大震災10年

10年前の3月11日午後2時46分、東北沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が、岩手、宮城、福島の3県をはじめ東日本を襲いました。津波は沿岸部に壊滅的な被害を与え、制御不能に陥った東京電力福島第1原発は過酷な事故を起こしました。

史上例のない複合災害となった東日本大震災の傷はあまりに深く、原発事故の収束は見えません。被災地では懸命な復興への努力が続いていますが、コロナ感染の影響が新たな困難をもたらしています。被災者の暮らしと生業の再建のため、これからも支援を継続し強化をはかることが政府の役割です。津波にのみ込まれた地域の被災直後の惨状は、すっかり変わり、整地されました。

一方で、かさ上げなどが完了した場所では空き地が目立ちます。復興が進まない現実が示されています。多くの被災者は、暮らしも生業も被災前の水準を取り戻せていません。時がたつにつれて震災直後と異なる苦難に直面している人が少なくありません。被災者中心の復興が貫けていないからです。長期化する原発事故被害では国と東電は賠償や地域再生などで最後まで責任を果たすべきです。

東日本大震災は、大量の帰宅難民や広範囲の液状化被害など都市部の災害への脆弱性も浮き彫りにしました。震災後の10年も地震、水害など大災害が相次いでいます。コロナ禍も感染症に弱い政治・社会の現状を際立たせました。「想定外」で再び悲劇を招いてはなりません。国民の命と安全を守り抜く政治の実現は焦眉の課題です。

(赤旗主張より抜粋)



国際女性デー北九州集会

2021年国際女性デー北九州実行委員会は、「一人で悩まずつながろう!いのち・暮らし・雇用・営業を守れ!改憲NO!核兵器禁止条約への参加を!世界の女性と手をつなぎ、平和、ジェンダー平等へ!」をスローガンに2021年国際女性デー北九州集会を開催しました。

小倉駅デッキで3月7日(日)13時から取り組まれ、北九州市内の女性80人が参加し、プラカードやゼッケンを付けスタンディング。女性議員や新婦人の会の役員などがリレートーク。華やかの中に平和を愛する気持ちのこもった集会になりました。通行していた方が、「女性がこれだけ集まるとものすごい力を感じる」と話しながら通って行かれました。

最後は、参加者全員で記念写真。

(堀田和夫氏FBより)

国際女性デー中央大会オンライン開催

ジェンダー平等へ転換を

国際女性デーの8日、全国各地で平和やジェンダー平等の実現を目指し世界の女性と連帯しようとアピール行動や集会が開かれました。2021



年国際女性デー中央大会は、「ひとりで悩まずつながろう!いのち・暮らし・雇用・営業を守れ!改憲NO!」などのスローガンを掲げ、コロナ禍でオンラインで開催されました。

(しんぶん赤旗より)

市政懇談会開かれる

日本共産党市議団は、1月31日投票の市議選で改選時と同じ8議席という少し残念な結果に終わりました。2月24日に改選後最初の市議会が招集され、議長を選出、常任委員の選出などが行われ、3月4日から本格的な2021年予算案などの審議が始まります。

日本共産党市議団から、2021年予算案審議の前に多くの市民の意見、要求などをききとり市民の立場に立ってコロナ対策の抜本的強化、高齢者福祉乗車券の実現、35人学級の実現など公約実現に全力を尽くしていくために「市政懇談会」を2月27日14時から商工貿易会館2階ホールで開催しました。コロナ禍の中、112人の方が参加しました。



懇談会は、山内(若松区選出)議員の司会で始まり、荒川市議団団長から当選議員の紹介、引退された石田、田中前議員の紹介・挨拶の後、10月までに戦われる衆議院選挙の田村貴昭衆議院議員、真島省三前衆議院議員から挨拶を受けました。

2月定例会議に臨む市議団方針などについて新しく議員団長になった荒川(戸畑区選出)議員が詳しく提案・報告しました。

報告を受けての質問や意見は、多くの参加者から次々に手が上がり発言が続きました。質問意見に対して、関係議員から懇切丁寧に説明がありました。閉会の言葉は、藤沢(小倉南区選出)議員が行いました。

(堀田和夫氏FBより)